



上野小学校だより



令和4年7月1日
第4号
勝浦市立上野小学校
HP <http://www.chiba-a.jp/ueno-e/>

校庭のアジサイの花が、色鮮やかに色づいています。6月は、講師を招いての体験学習や農業体験、校外学習など様々な活動があり、子供たちが目を輝かせさせて生き生きと学ぶ姿が多く見られました。早いもので1学期も残すところ3週間となりました。1学期の一人一人の成長を振り返り、学習のまとめをしっかりとしていきたいと思ひます。



令和4年度 運動会



6月4日、初夏のまぶしい青空の下、運動会が行われました。赤組団長 森仁心輝さん、白組団長 岡田湧晟さんの力強い選手宣誓の声がグラウンドいっぱいに響き渡り運動会がスタート。今年のテーマは、「赤白で 全力勝負だ 最後まで」(2年 宮崎正博さん)です。子供達からの要望を受け、復活した全校綱引きをはじめ、各学年の競技、応援合戦、紅白リレーなど、どの競技もこのテーマにふさわしく、最後まで白熱した「全力勝負」が繰り広げられました。保護者の皆様には、子供たちに温かい声援をいただきありがとうございました。



交通安全教室



6月7日、交通安全教室が行われました。勝浦警察署、交通安全協会の方々から1、2年生は「道路の安全なわたり方」、3年生から6年生は「自転車の安全な乗り方」を教えていただきました。また、今年は特殊なゴーグルを使った飲酒状態の疑似体験もさせていただき、飲酒運転の恐ろしさも体感しました。



食育教室 ~1・3年生~

6月16日、栄養教諭の塩田先生をお迎えし食育教育の授業を行いました。1年生は今日の給食メニューをもとに食べ物の働きについて学びました。3年生は野菜の栄養や働きについて学び、栄養バランスのよい食事の大切さがよくわかりました。



7月の行事予定



7月1日(金)	全校朝会
4日(月)	委員会活動
7日(木)	体重測定(低)
8日(金)	6年校外学習(国会議事堂他) 体重測定(高)
11日(月)	諸費自動払込日 クラブ活動
13日(水)	磯観察
15日(金)	1,2年校外学習(勝浦漁港他)
18日(月)	祝:海の日
20日(水)	1学期終業式 個人面談(午後)
21日(木)	夏季休業(～8月31日) 個人面談(午後)

8月の主な行事

8月10日(水)～8月16日(火)	学校閉庁期間
27日(土)	P.T.A.奉仕作業



チョウの羽化を観察 ～3年理科～

今年も、照川由美子先生をお招きし特別授業を行いました。チョウの羽化の瞬間を観察し、その生命力に感動しました。



高齢者疑似体験 ～4年生総合～



6月16日、4年生が高齢者の疑似体験を通し、福祉について学びました。勝浦市役所高齢者支援課のみなさんにご協力いただき、勝浦市の高齢者福祉の取り組みについてお話を聞いた後、様々な装具を実際に身に着け、高齢者の体の動きを体験しました。おもりを付け関節を曲げにくくしながらの歩行や、視界が狭くなるゴーグルを着用しての細かな作業、手首に装具を付け手袋をして、指が動きづらい状態で薬を飲むなど、私たちにとっては当たり前動作が思った以上に難しく、高齢者にどんな支援が必要かを考える貴重な体験になりました。



本と出合おう！

7月の全校朝会 ～校長先生のお話～

梅雨が明け、真夏のような暑さが続いていますね。今日は、本のお話をしようと思います。みなさんは、学校にモリアオガエルのオタマジャクシがいるのを知っていますか？これから、かえるの姿へと成長していくのが楽しみです。これから紹介するのは、小さなかえるのお話です。後で、感想を聞かせてください。

むかし、むかし、あるところにあまがえるの親子がいました。お母さんがえるは、子がえるを大事に大事に育てましたが子どものかえるは、ちっとも親の言うことを聞かず、反対のことばかりしていました。お母さんがえるが、暑い日に「今日は暑いなあ」と言うと、子どものかえるは「今日は寒いなあ」と言います。お母さんが、東に行きなさいと言え、子がえるは必ず西に行きました。お母さんがえるが、「山にいった遊びなさい」と言うと、いつだって川へ行って遊びました。

こんなふうに、なんでもかんでも親のかえるの言うことへの反対ばかりをしていたので、とうとうお母さんがえるは重い病気にかかってしまいました。お母さんがえるは、いよいよ死にそうになったときに、こう思いました。死んだら山にうめてもらいたいけれども、今までいくら言っても反対のことばかりする子だから「山にうめてくれ」と言うと、川のそばにうめらるだろう。だから「川のそばにうめてくれ」と言え、きっと山にうめてくれるに違いない。そこで、子どものかえるを呼んで、「私が死んだら、川のそばにうめて、墓をたてておくれ」と言って息を引き取りました。子どものかえるは、そのとき初めて親のありがたさが分かり、「ああ、自分は、今までなんでもかんでも親の言うことへの反対ばかりをしてきて申し分けなかった」と、心を痛めました。そしてお母さんの言うことをちゃんと聞かなかったことを後悔しました。「お母さんが死ぬ前に「川のそばにうめてくれ」と言ったから、せめてひとつづらいう通りしよう。」と言って、泣きながら、死んだお母さんを川のそばにうめて、お墓をたてました。ところが、川のそばなので、雨が降るたびに川の水があふれてお墓が流されそうになります。それが心配で、あまがえるは、今でも雨が降りそうになるとゲゴゲコ、ゲゴゲコと鳴くそうです。

※感想を聞かせてください。 ～略～

この昔話は、岐阜県の民話として語り継がれている「かえるの親不孝」というお話です。調べてみると、佐賀県や沖縄県でも全く同じストーリーの民話があることがわかりました。さらに、お隣の国「韓国」でも、このお話は「青がえるの親不孝」という昔話として、多くの人に親しまれているそうです。親を尊敬し、大切にするとこの本の教訓は、どこの国でも誰にとっても、胸に響きますね。本は、私たちに大切なことを教えてくれます。みなさんも、ぜひ、いろいろな本を読んでみてください。そして、読んだ本のことを、友だちや、家の人に教えてあげましょう。本を読んで感じたことや考えたことを誰かと話そうと、ますます読書が楽しくなります。みなさんの心に響く本に、たくさん出合えるといいですね。